設計変更理由書

神戸市

工 事 名	天狗橋補修工事

設計変更後の工事概要

橋長　L=19.54m
橋梁補修工　一式　橋梁付属物工　一式　擁壁工　一式　仮設工　一式

変更完成期限 令和８年１２月１２日（工期延長 ３０日間）

設計変更の理由

① 橋梁下面より吊り足場を設置する予定であったが、現地調査の結果、橋梁下部の地盤が当初想定より軟弱であり、吊り足場の設置・撤去作業に必要な作業床の安全確保が困難であることが判明したため、橋梁点検車を用いた橋面からの施工に変更した。
② 表面保護工の下地処理に際し、当初想定よりも既設の塗膜材が強固に付着していたことから、既設塗膜撤去工が増工となった。
③ 既設橋梁目地の撤去に際し、当初の施工範囲前後に劣化が確認された。当該劣化部を残置した場合、伸縮装置の耐久性に支障を及ぼすおそれがあることから、施工範囲を拡張する必要が生じ、増工となった。
④ 現地調査の結果、高欄部および橋体において、過年度の設計時に確認できなかった有害なひび割れが確認されたため、ひび割れ注入工が増工となった。
⑤ 現地調査の結果、当初設計時には確認できなかった石積のはらみ出しが生じている箇所が確認されたため、石積接着補強工の施工範囲を追加する必要が生じ、増工となった。
⑥ ①②④の変更に伴い、片側交互通行規制を実施する期間が延長となった。また、県警協議の結果、片側交互通行規制時の交通誘導員の配置人数を増やす必要が生じ、増工となった。

（工期延長の理由）
⑦ ②④⑤の数量増により当初より施工期間を要するため、30 日の工期延期を行う。